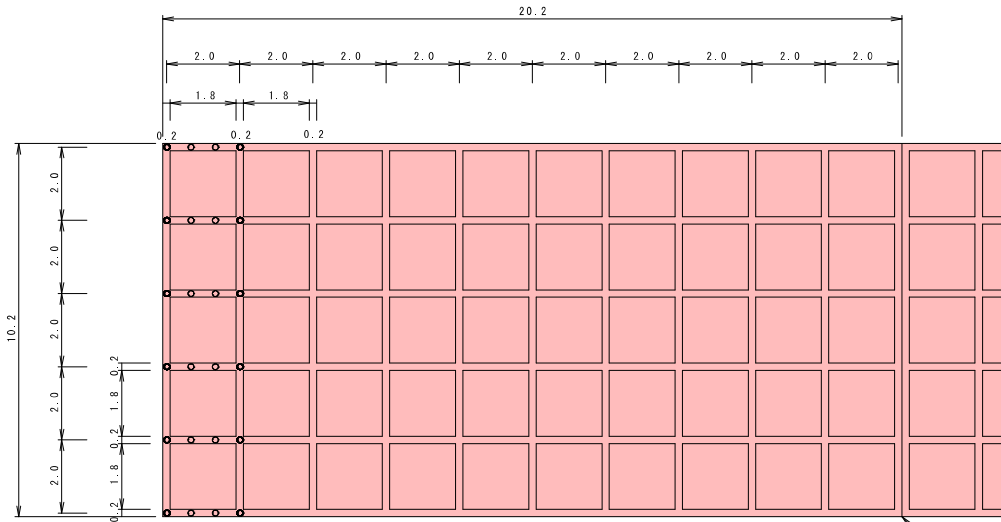


法枠工標準図

現場吹付法枠工標準図
F200@2000 S=1:100

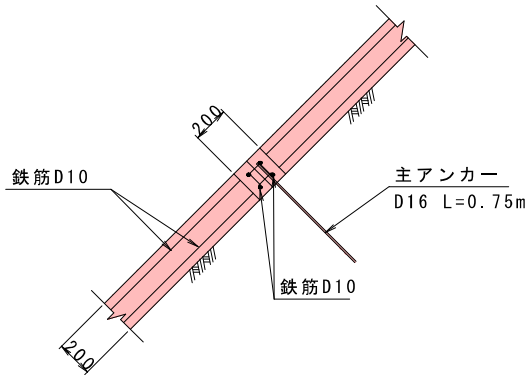


法枠工 (F200@2000) 単位数量表

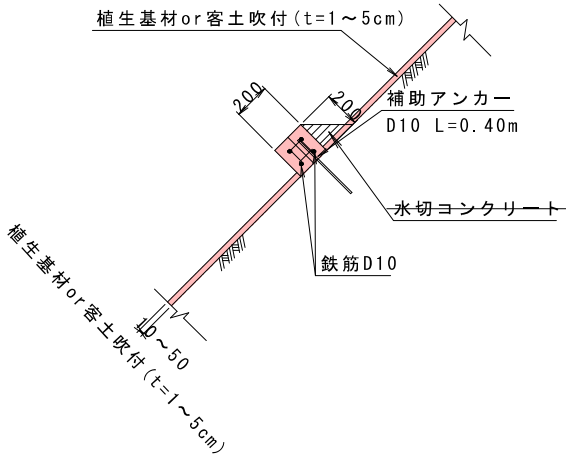
名称	規格	計算式	412.08m2当り	100.00m2当り	単位
面積		10.20×20.20×2	412.080	100.000	m2
枠長		(10.2×11+1.8×6×10)×2	440.400	106.872	m
型枠		(10.2×11+1.8×6×10)×2	440.400	106.872	m
モルタル		{ (10.2×11+1.8×6×10) ×0.2×0.2 } ×2	17.616	4.275	m3
鉄筋	D10	{ (10.1×4×11+20.1×4×6) ×0.56 } ×2	1038.016	251.897	kg
主アンカー	D16	(6×11) ×2	132.000	32.000	本
補助アンカー	D10	(6×2×10) ×2	240.000	58.000	本
目地材		10.2×0.2	2.040	0.495	m2
ラス金網	φ2 50×50mm	突出タイプ(全面張)	412.080	100.000	m2
中詰め面積	モルタル吹付部	1.80×1.80×5×10×2	324.000	78.625	m2
枠内比率	モルタル吹付部	324.00÷412.08 (植生基材吹付部は枠内面積単位数量表参照)	0.786	0.786	
枠比率		(440.4×0.2) ÷412.08	0.214	0.214	

目地材

A-A断面

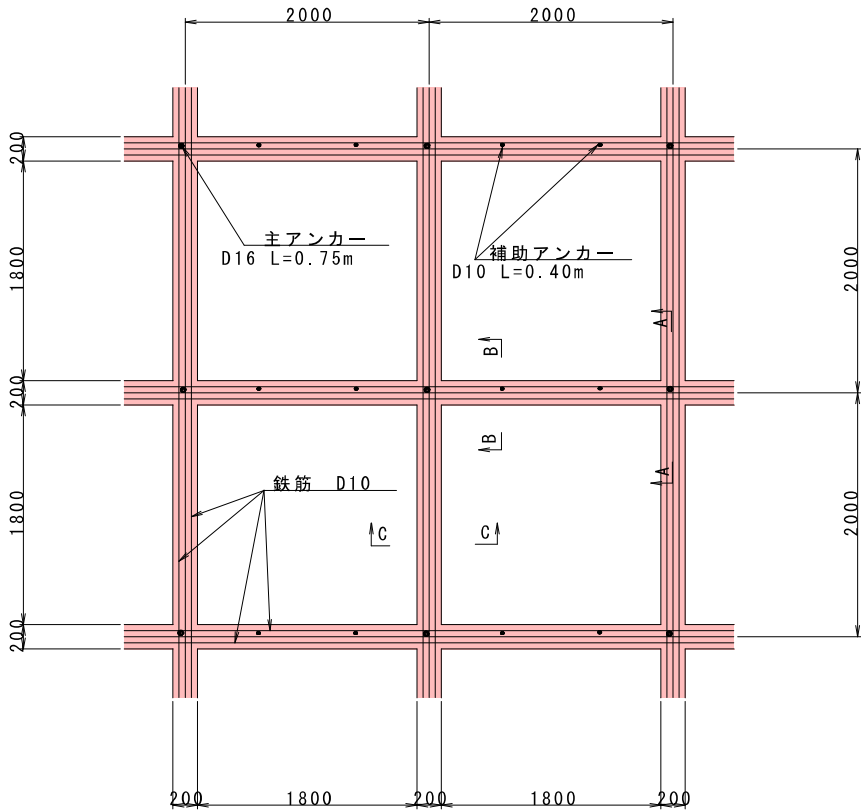


B-B断面

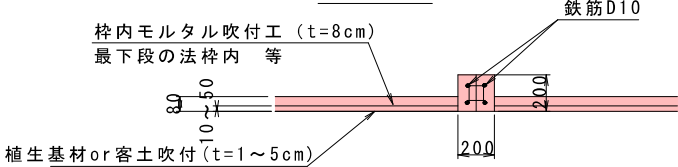


現場吹付法枠工詳細図
F200@2000 S=1:50

平面図



C-C断面



枠内面積単位数量表

法勾配	枠幅	法枠	計算式	412.08m2当り	100m2当り
0.600	0.200	2.000	(1.80-0.12) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 302.40	302.40	73.38
0.800	0.200	2.000	(1.80-0.16) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 295.20	295.20	71.64
1.000	0.200	2.000	(1.80-0.20) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 288.00	288.00	69.89
1.100	0.200	2.000	(1.80-0.22) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 284.40	284.40	69.02
1.200	0.200	2.000	(1.80-0.24) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 280.80	280.80	68.14
1.400	0.200	2.000	(1.80-0.28) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 273.60	273.60	66.39
1.500	0.200	2.000	(1.80-0.30) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 270.00	270.00	65.52
1.600	0.200	2.000	(1.80-0.32) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 266.40	266.40	64.64

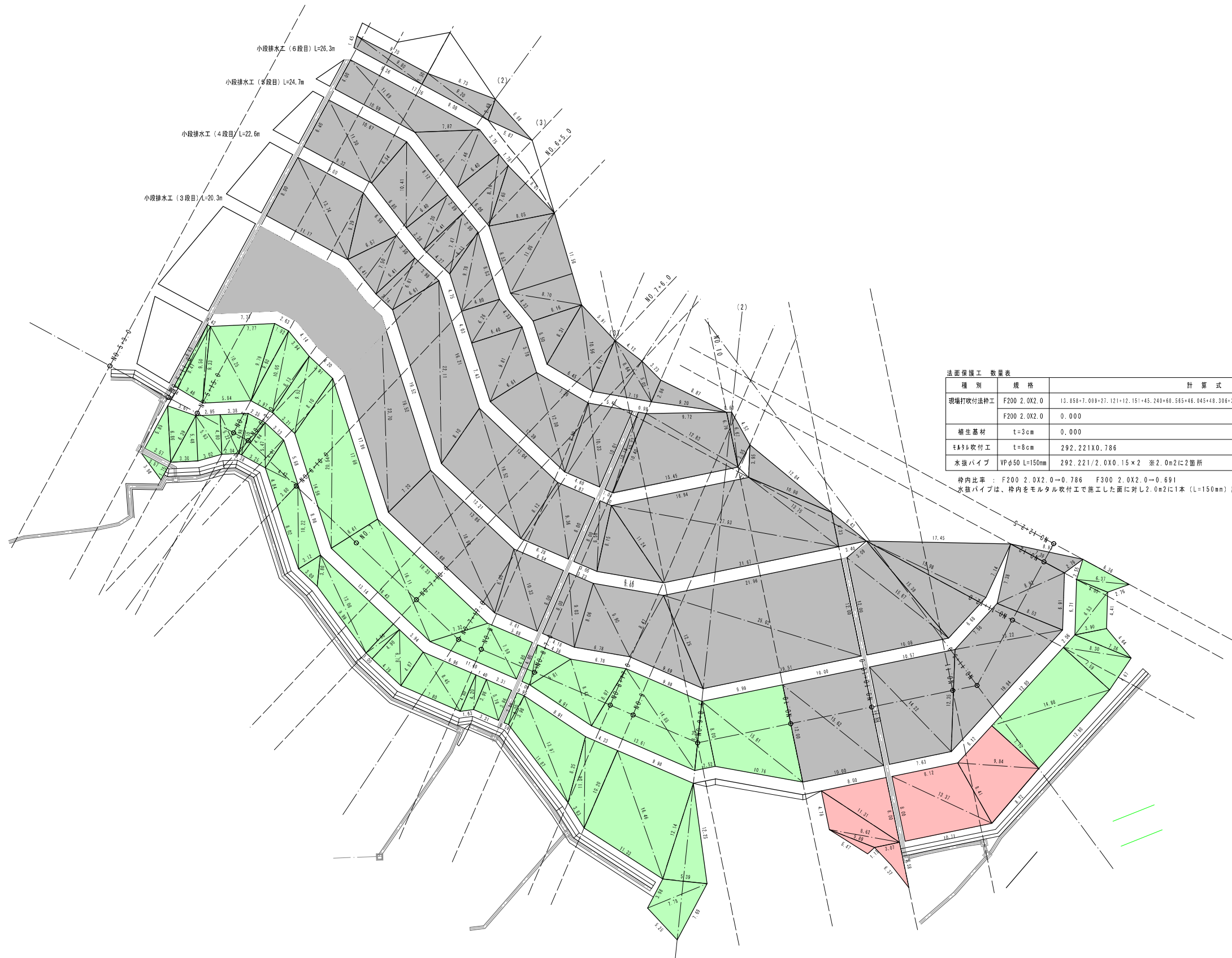
水切コンクリート単位数量表

法勾配	枠幅	法枠	計算式	412.08m2当り	100m2当り
0.600	0.200	2.000	(0.12×0.20×1/2) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 2.16	2.16	0.52
0.800	0.200	2.000	(0.16×0.20×1/2) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 2.88	2.88	0.70
1.000	0.200	2.000	(0.20×0.20×1/2) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 3.60	3.60	0.87
1.100	0.200	2.000	(0.22×0.20×1/2) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 3.96	3.96	0.96
1.200	0.200	2.000	(0.24×0.20×1/2) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 4.32	4.32	1.05
1.400	0.200	2.000	(0.28×0.20×1/2) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 5.04	5.04	1.22
1.500	0.200	2.000	(0.30×0.20×1/2) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 5.40	5.40	1.31
1.600	0.200	2.000	(0.32×0.20×1/2) × 1.80 × 5 × 10 × 2 = 5.76	5.76	1.40

実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	令和7年度 大規模常定歩道等（急傾斜）工事（大塚3地区R7-1工区）
河 川 管 轄 名	大塚3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	現場吹付法枠工標準図(3-1)
縮 尺	図示
図面番号	全 28 葉 第 17 号

法面工展開図（6-4） S=1:250



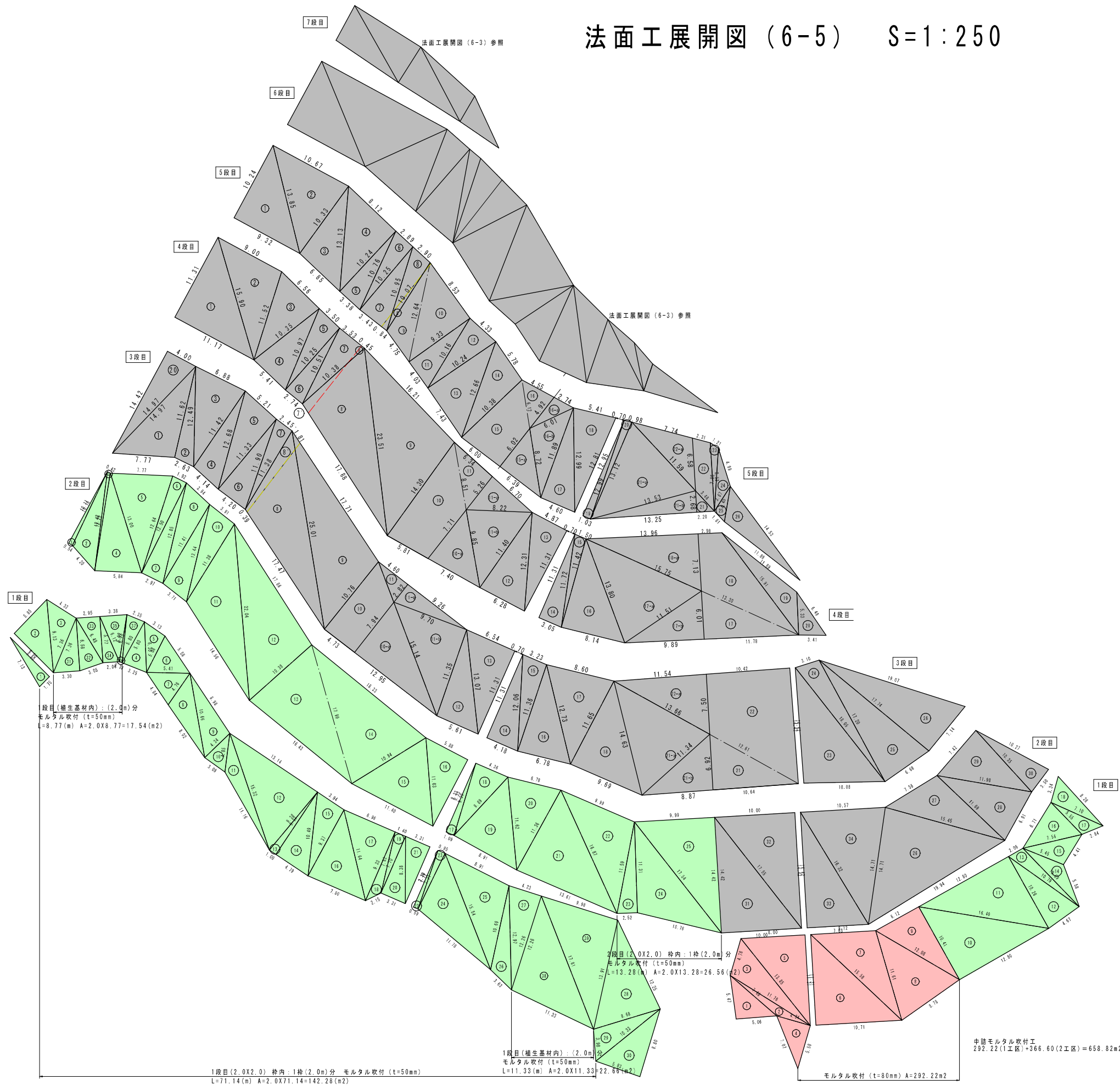
法面保護工 数量表		1.0式当たり		
種 別	規 格	計 算 式	数 量	単 位
現場打吹付法砕工	F200 2.0X2.0	13.858+7.009+27.121+12.151+45.240+60.565+46.045+48.306+31.926	292.221	292.22 m2
	F200 2.0X2.0	0.000	0.000	0.00 m2
植生基材	t=3cm	0.000	0.000	0.00 m2
モルタル吹付工	t=8cm	292.221X0.786	229.686	229.69 m2
水抜パイプ	VPφ50 L=150mm	292.221/2.0X0.15×2 ※2.0m2に2箇所	43.833	43.83 m

枠内比率 : F200 2.0X2.0→0.786 F300 2.0X2.0→0.691
水抜パイプは、枠内をモルタル吹付工で施工した面に対し2.0m2に1本 (L=150mm) 設置する。

実施設計図

(1工区)	鹿 児 島 県
工 事 名	令和7年度 大規模特定防災等（急傾斜）工事（大峯3地区R7-1工区）
河 川 名	大峯3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	法面工展開図（6-4）
縮 尺	図示のとおり
図面番号	全 28 葉 第 18 号

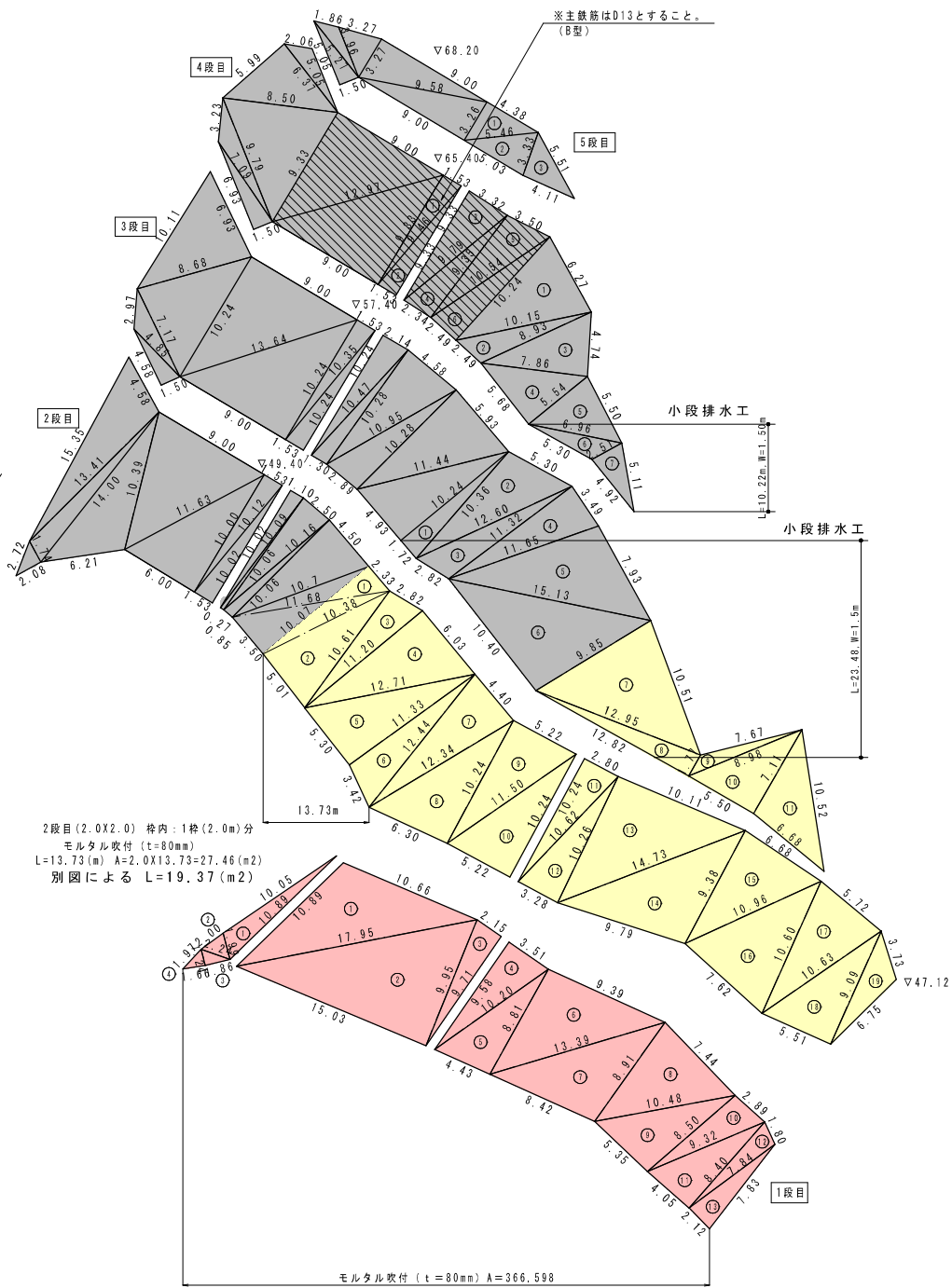
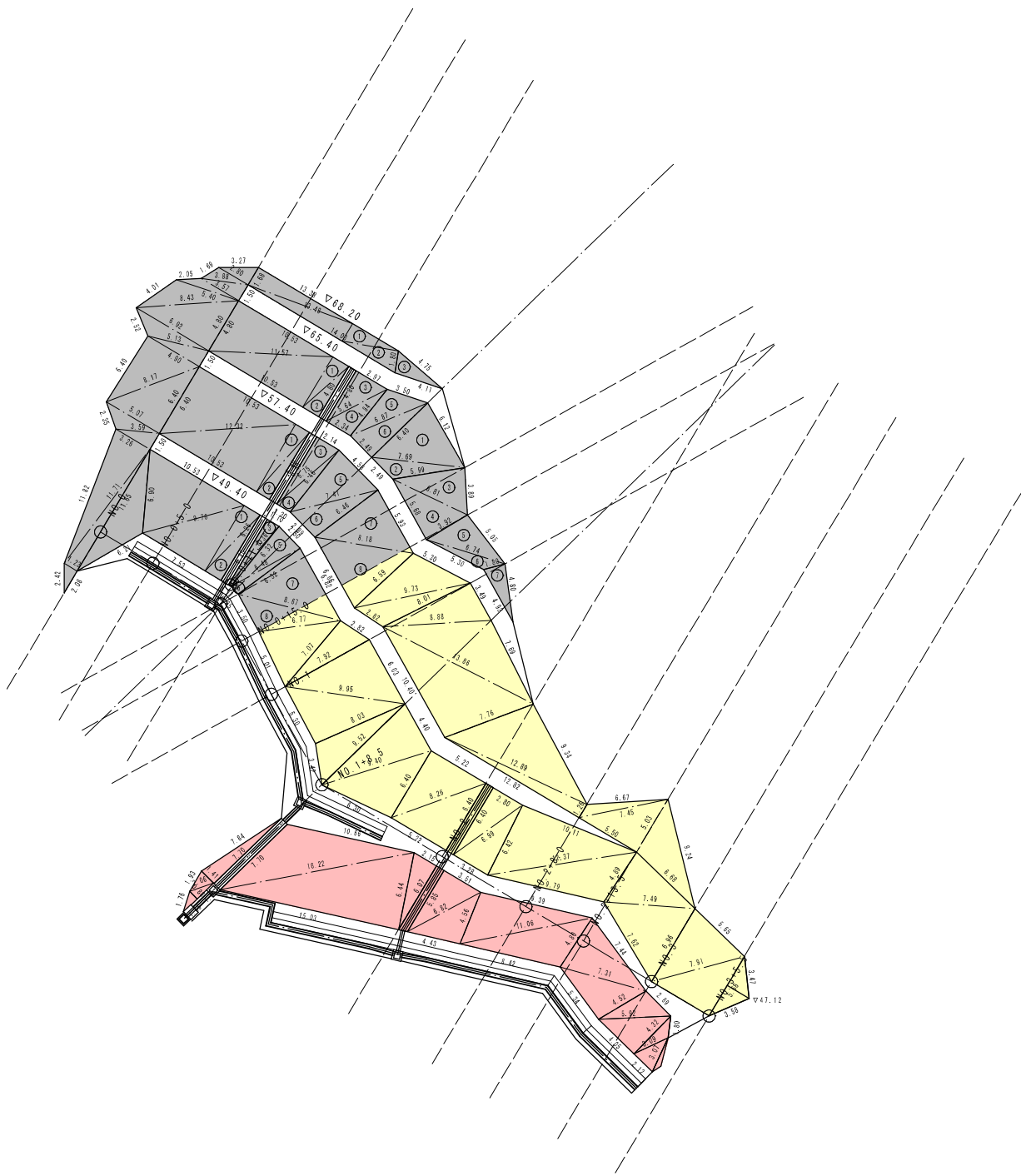
法面工展開図 (6-5) S=1:250



1段目 F200-2.0X2.0-t30 (A型)				
	a	b	c	s
1	5.47	7.68	5.06	9.11
2	7.68	11.76	4.34	11.89
3	11.76	4.78	13.85	15.20
4	7.07	5.58	4.34	8.50
5	13.85	8.00	11.31	16.58
6	11.31	10.71	15.58	18.80
7	15.58	8.12	11.61	17.66
8	11.61	8.78	12.08	16.24
9	12.08	6.12	10.41	14.31
			面積 m ²	292.221

(1工区) 実施設計図	
鹿 児 島 県	
工 事 名	令和7年度 大規模橋梁修繕等(急傾斜)工事(大峯3地区R7-1工区)
河 川 名	大峯3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	法面工展開図(6-5)
縮 尺	図示のとおり
図面番号	全 28 葉 第 19 号

法面工展開図（6-6） S=1:250



記号	a	b	c	s	面積 m ²
1	10.89	1.99	10.05	11.47	9.463
2	2.00	2.24	1.99	3.12	1.864
3	2.24	1.24	1.86	2.67	1.153
4	1.66	1.97	1.24	2.44	1.036
面積 m ²					13.516

記号	a	b	c	s	面積 m ²
1	10.89	10.66	17.95	19.75	53.508
2	17.95	9.95	15.03	21.47	74.878
3	9.71	2.15	9.95	10.91	10.493
4	3.51	10.20	9.58	11.65	16.871
5	4.43	8.81	10.20	11.72	19.440
6	8.81	13.39	9.39	15.80	41.305
7	13.39	8.42	8.91	15.36	36.803
8	10.48	7.44	8.91	13.42	32.620
9	5.35	8.50	10.48	12.17	22.689
10	8.50	2.89	9.32	10.36	12.235
11	8.40	4.05	9.32	10.89	17.064
12	7.84	1.80	8.40	9.02	6.903
13	7.84	2.12	7.83	8.90	8.273
面積 m ²					353.082

(2工区)
A=13.516+353.082=366.598(m²)

種別	規格	計算式	数量	単位
現場打吹付法砕工	F200 2.0X2.0	13.516+353.082	366.598	366.60 m ²
	F200 2.0X2.0	0.000	0.000	0.00 m ²
養生基材	t=3cm	0.000	0.000	0.00 m ²
モルタル吹付工	t=8cm	366.598X0.786	288.146	288.15 m ²
水抜パイプ	VPφ50 L=150mm	366.598/2.0X0.15×2 ※2.0m2に2箇所	54.990	54.99 m

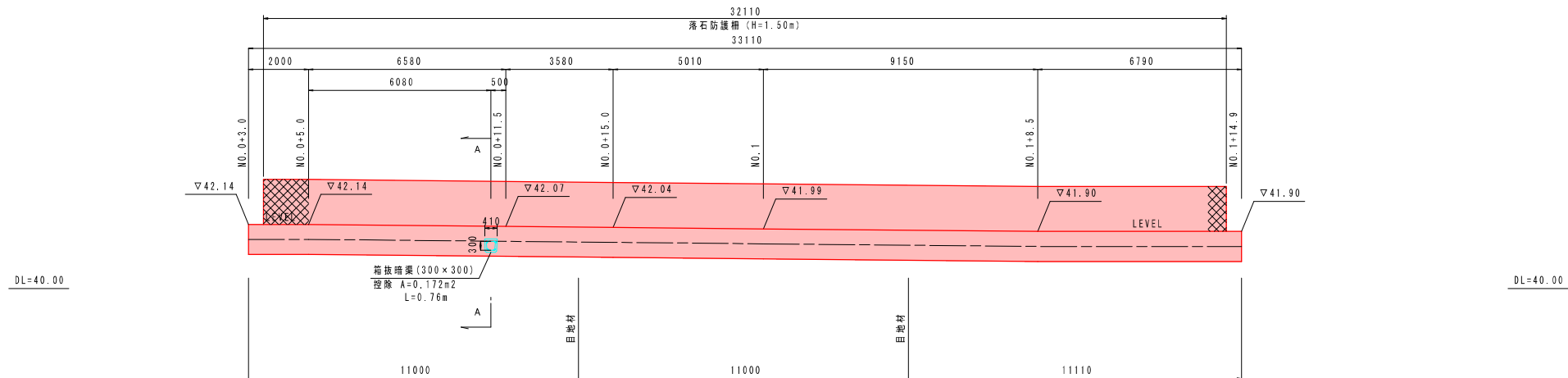
砕内比率：F200 2.0X2.0→0.786（標準断面図参照）
水抜パイプは、砕内をモルタル吹付工で施工した面に対し2.0m2に2本（L=150mm）設置する。

※主鉄筋はD13とすること。（B型）

実施設計図

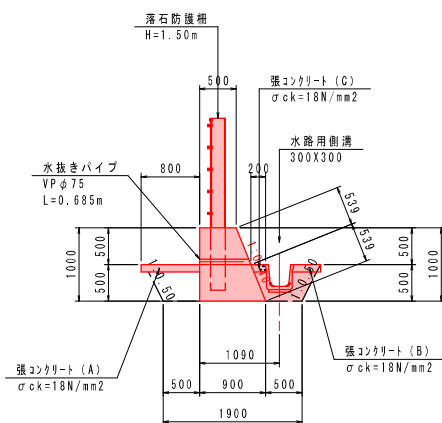
(2工区)	
工事名	令和7年度 大規模特定砂防等（急傾斜）工事（大峯3地区R7-1工区）
河川名	大峯3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	法面工展開図（6-6）
縮尺	S=1:200
図面番号	全 28 葉 第 20 号

展開図 $S=1:100$

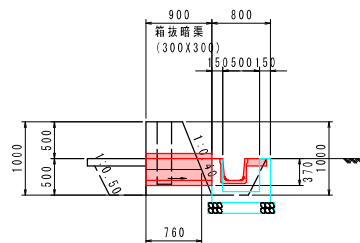


標準断面図 S=1:50
(H=1.00m 前面勾配1:0.40)

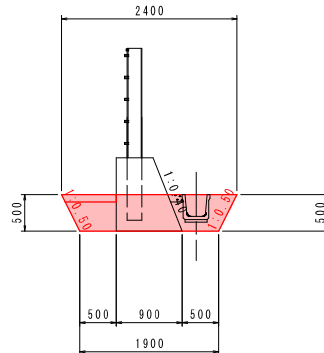
断面図



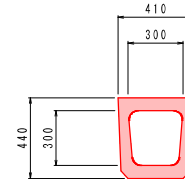
A-A 断面図
(開口部)



土工図



箱拔暗渠 S=1:20
(300X300)



第6号斜面下部対策工 数量表 (H=1.00m)				1式当たり	
種 別	規 格	計 算 式	数 量	単 位	
コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	$6.17 \times 33.11 / 10.00 - 0.172 \times 0.76$	20.298	20.30	m ³
型 枠	残存滑面型枠	$15.40 \times 33.11 / 10.00 - 0.172 \times (1.000 + 1.077)$	50.632	50.63	m ²
	残存化粧型枠	$5.40 \times 33.11 / 10.00$	17.879	17.88	m ²
水抜α'イ'	VP75	$3.43 \times 33.11 / 10.00$	11.357	11.36	m
目地材	3539付 t=10mm	0.70×2	1.400	1.40	m ²
縦張暗渠	300X300	0.90×1	0.900	0.90	m
張コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	張コンクリート求積図にて計上。	-	-	m ²

第6号斜面向部対策工 土工数量			1式台子	
種 別	規 格	計 算 式	数 量	単位
床 堀	砂質土	33.11X1.1	36.4	m3
埋 戻	砂質土	33.11X0.5	16.6	m3
特殊処理	砂質土	36.4-16.6/0.9=18.0	18.0	m3
基面整正		33.11X0.9	29.8	m2

張コンクリートは、別途求積図にて計上。

【平板載荷位置における必要地耐力】
 $q=30(\text{kN/m}^2)$ 以上

断面下部対策工 数量表 (H=1.00m)			10m当たり	
種 別	規 格	計 算 式	数 量	単 位
コンクリート	σck=18N/mm ²	1/2X(0.50+0.90)X1.00X10.0-(15.400+5.400)X0.040	6.168	m ³
型 枠	既存滑面型枠	(1.00+0.54)X10.0	15.400	15.40 m
	既存化粧型枠	0.54X10.0	5.400	5.40 m ²
水抜「V」	VP75	0.685X10.0/2.0	3.425	3.43 m
目地材	15234t t=10mm	1/2X(0.50+0.90)X1.00	0.700	0.70 m ²
張コンクリート	σck=18N/mm ²	(0.80+0.20)X10.00	10.000	10.00 m ²

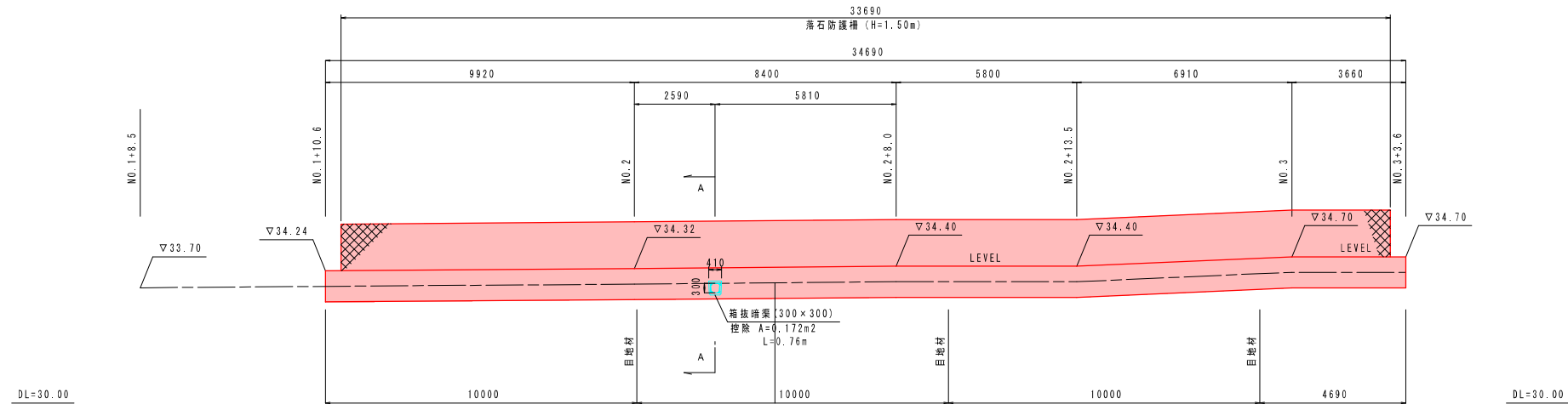
(注)
擁壁下面については、施工前（床掘後）平板載荷試験を実施し、必要地盤の支持力度を確認すること。
擁壁最大地盤反力：28.73 (kN/m²) 擁壁作用鉛直力：18.56 (kN)

土工数量		1.0当たり	
種 別	規 格	数 量	単 位
床 堀	砂質土	1.1	m ³
埋 戻	砂質土	0.5	m ³
残土処理	砂質土	0.6	m ³
基面整正		0.9	m ²

数量表(300X300)		10m当り	
種 別	規 格	数 量	単位
横断暗渠	300X300	10.00	m

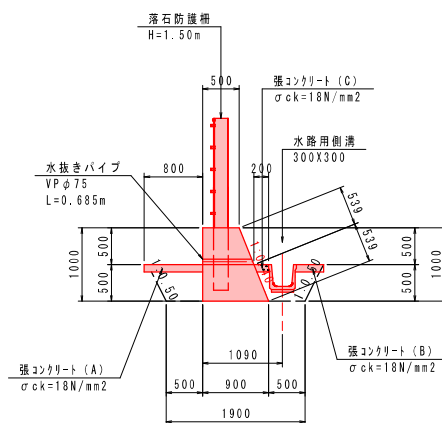
実施設計図

(2工区)	
鹿 児 島 県	
工 事 名	令和7年度 大規模特定砂防等（急傾斜）工事（大塚3地区R7-1工区）
河 川 管 線 名	大塚3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	第6号斜面下部対策工
縮 尺	図示のとおり
図面番号	全 28 葉 第 21 号

展開図 $S=1:100$ 

A-A 断面図
(開口部)

断面図



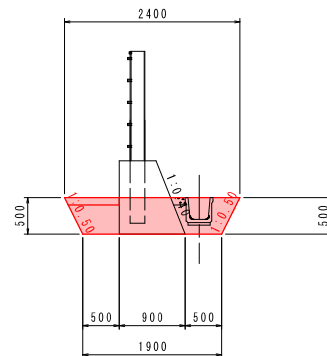
張コンクリートは、別途求積図にて計上。

【平板載荷位置における必要地耐力】
 $q=30(\text{kN/m}^2)$ 以上

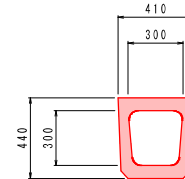
断面下部対策工 数量表 (H=1.00m)			10m当たり	
種 別	規 格	計 算 式	数 量	単 位
コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	$1/2X(0.50+0.90)X1.00X10.0-(15.400+5.400)X0.040$	6.168	m ³
型 枠	既存滑面型枠	$(1.00+0.54)X10.0$	15.400	15.40 m ²
	既存化粧型枠	$0.54X10.0$	5.400	5.40 m ²
水抜A'イ'フ'	VP75	$0.685X10.0/2.0$	3.425	3.43 m
目地材	525 ϕ t=10mm	$1/2X(0.50+0.90)X1.00$	0.700	0.70 m ²
張コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	$(0.80+0.20)X10.00$	10.000	10.00 m ²

(注)
擁壁下面については、施工前（床掘後）平板載荷試験を実施し、必要地盤の支持力度を確認すること。
擁壁最大地盤反力：28.73 (kN/m²) 擁壁作用鉛直力：18.56 (kN)

土工図



箱拔暗渠 S=1:20
(300X300)



土工数量		1.0m当たり	
種 別	規 格	数 量	単 位
床 堀	砂質土	1.1	m ³
埋 戻	砂質土	0.5	m ³
残土処理	砂質土	0.6	m ³
基面整正		0.9	m ²

種 別	規 格	数 量	単位
横断暗渠	300X300	10.00	m

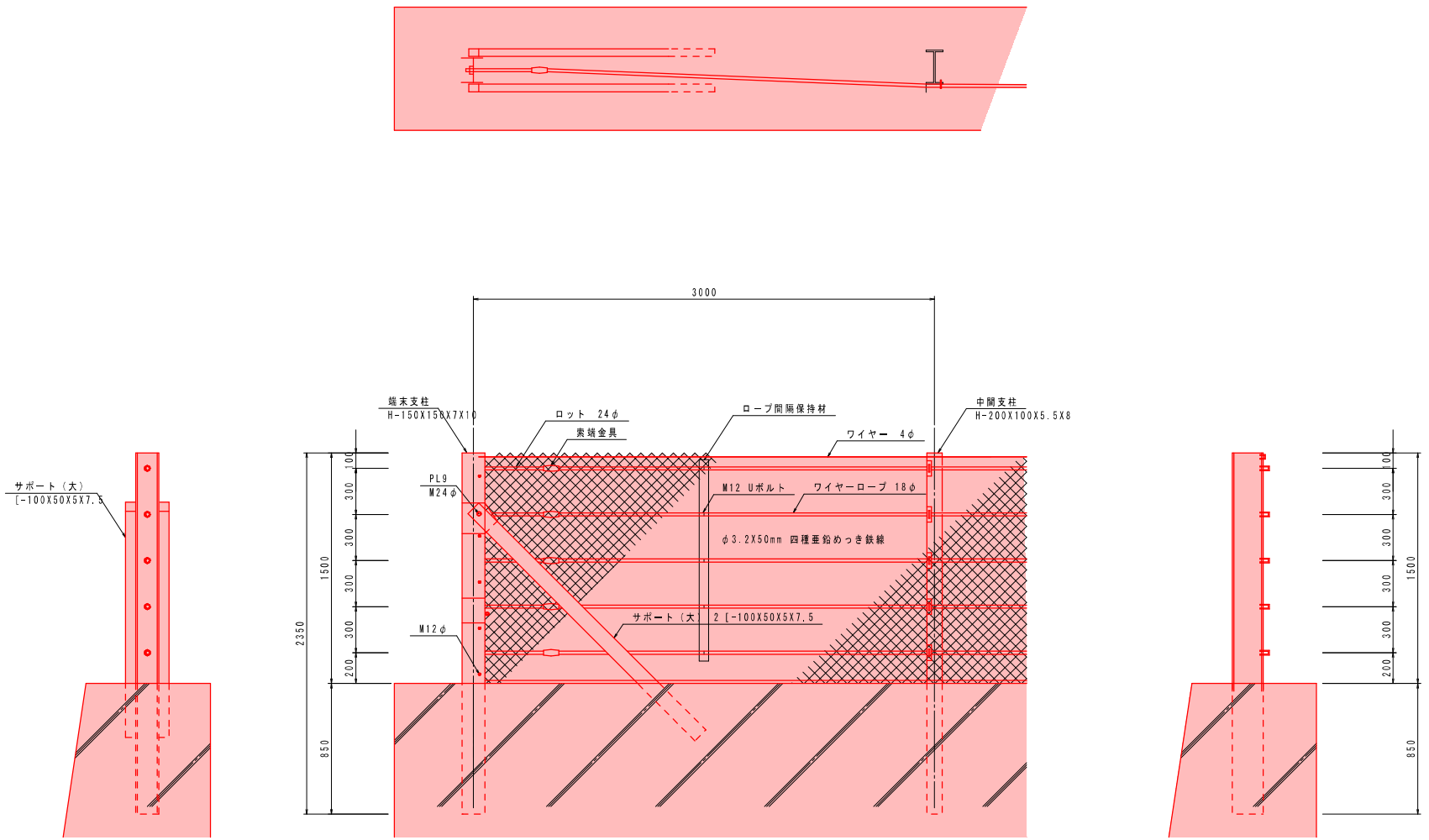
第7号斜面下部対策工 数量表 (H=1.00m)			1式当たり	
種 別	規 格	計 算 式	数 量	単位
コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	$6.17X34.69/10.00-0.172X0.76$	21.273	m ³
型 枠	残存溝面型枠	$15.40X34.69/10.00-0.172X(1.000+1.077)$	53.065	m ²
	残存化粧型枠	$5.40X34.69/10.00$	18.733	m ²
水抜α'イ'	VP75	$3.43X34.69/10.00$	11.899	m
目地材	533(付t=10mm)	$0.70X3$	2.100	m ²
縦張暗渠	300X300	$0.90X3$	0.900	m
強コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	強コンクリート補綴図にて計上。	-	m ²

第7号斜面下部対策工 土工数量			1式計表 号		
種 別	規 格	計 算 式	数 量	単 位	
床 堀	砂質土	34.69X1.1	38.2	38.2	m3
埋 戻	砂質土	34.69X0.5	17.3	17.3	m3
残土処理	砂質土	38.2-17.3/0.9	19.0	19.0	m3
基面整正		34.69X0.9	31.2	31.2	m2

実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	令和7年度 大規模特定砂防等（急傾斜）工事（大峯3地区R7-1工区）
河 川 名	大峯3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	第7号斜面下部対策工
縮 尺	図示のとおり
図面番号	全 28 葉 第 22 号

落石防護柵工 S=1:20
(H=1.50m)



実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	令和7年度 大規模特定砂防等（急傾斜）工事（大峯3地区R7-1工区）
河 川 名	大峯3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	落石防護柵工
縮 尺	S=1:20
図面番号	全 28 葉 第 23 号

張コンクリート工求積図 S=1:500



標準断面図 S=1:50
(H=1.00m 前面勾配1:0.40)

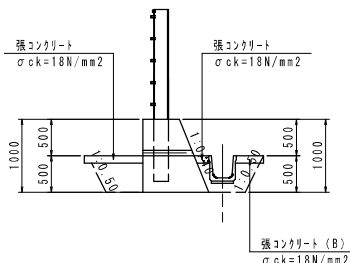
張コンクリート工 数量表 (1工区)			1.0箇所当たり	
種 別	規 格	計 算 式	数 量	単 位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ t=10cm	$0.160+22.943+0.029+7.288$	30.420	
		$0.128+21.076+23.578+14.396+6.148+9.499+6.569+6.948+0.029$	88.371	
		$2.048+17.925+4.669+3.617+33.998$	62.257	
		$3.929+45.316+36.438+5.780+24.575+0.399+21.988+11.669+0.293+9.870$	160.257	
		$0.128+39.380+24.979+9.263+10.331+0.029$	84.110	
		$113.512+8.107$	121.619	
			547.03	

(第1号斜面下部対策工)
(第2号斜面下部対策工)
(第3号斜面下部対策工)
(第4号斜面下部対策工)
(第5号斜面下部対策工)
(斜面土留)

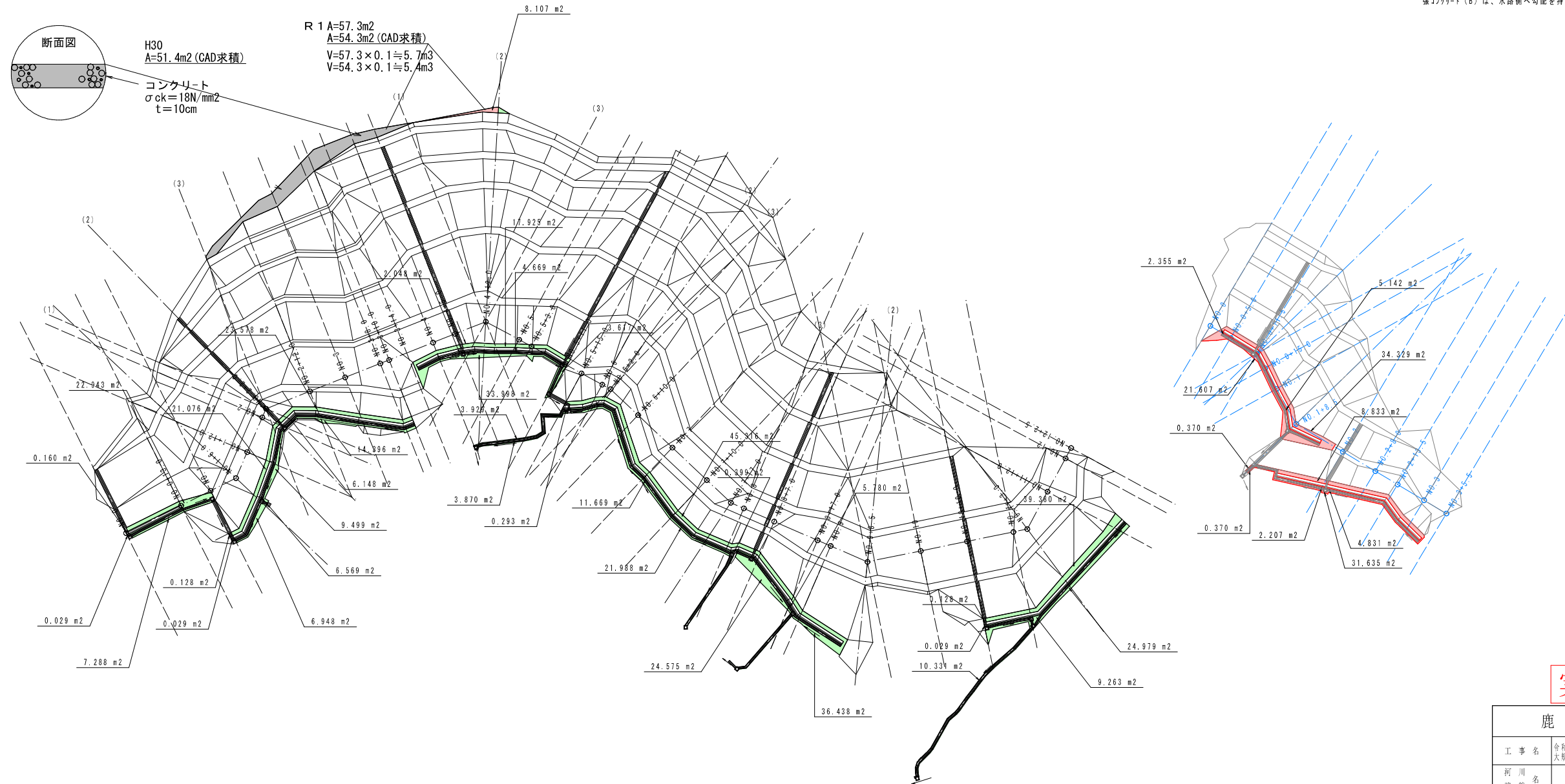
張コンクリート工 数量表 (2工区)				1.0箇所当たり	
種別	規格	計 算 式	数 量	単位	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$2.355+5.142+34.329+21.607$	63.433		
	$t=10cm$	$0.370+0.370+8.833+4.831+31.635+2.207$	48.246		
			111.168	m2	

(第6号斜面下部対策工)
(第7号斜面下部対策工)

$A=111.168 \times 0.1 = 11.17m^2$



本図面での求積は、張コンクリート(A)、(B)、(C(集水樹移行部))である。
張コンクリート(B)は、水路側へ勾配を持たせて施工すること。

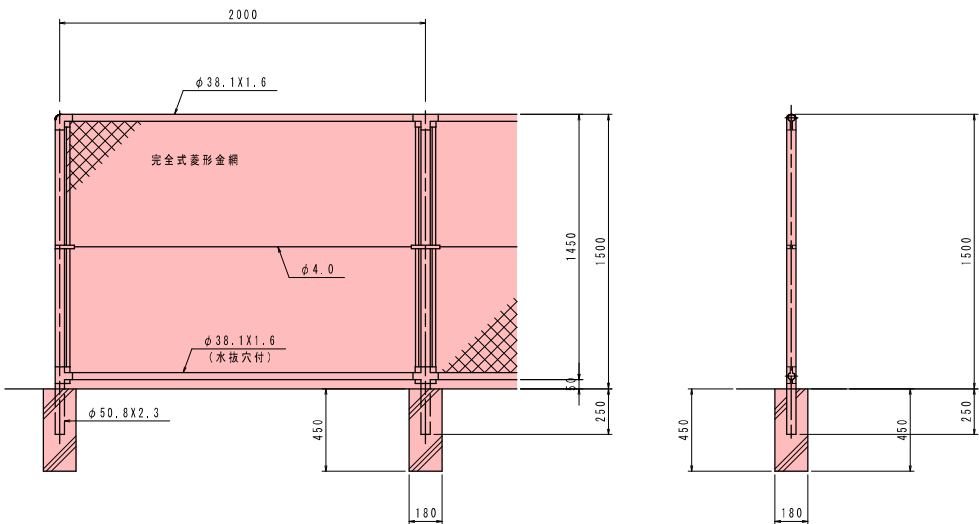


実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	令和7年度 大規模幹線砂防等(急傾斜)工事(大峯3地区R7-1工区)
河 川 名	大峯3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	張コンクリート工求積図・排水工構造図
縮 尺	S=1:500
図面番号	全 28 葉 第 24 号

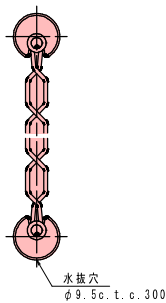
安全施設工 S=1:20

進入防止柵
(H=1500)



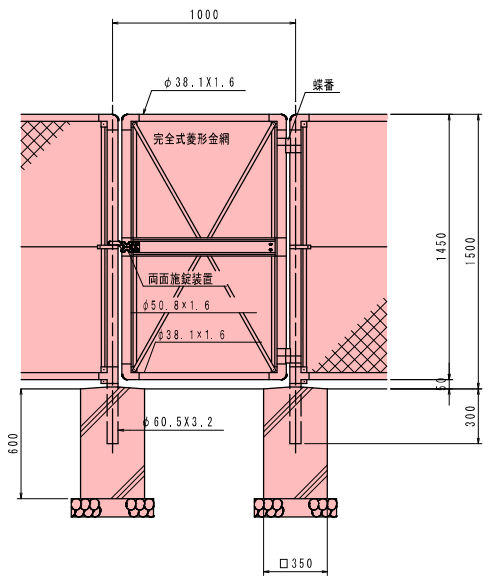
設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
備考
1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。

胴縁に金網取付断面図



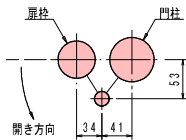
進入防護柵 数量表		10m当たり		
種別	規格	計算式	数量	単位
進入防護柵	H=1500		10.0	m
コンクリート	σck=18N/mm ²	(0.18X0.18X0.45-1/4X0.05X0.05XπX0.25)X5	0.07	m ³
型枠	小型構造物	0.18X0.45X4X5	1.62	m ²

片開き門扉
H1500XW1000



設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に
基づく風圧力に依る。
備考
1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
本図門扉は片側180°開きとする。

門柱・扉枠位置関係図



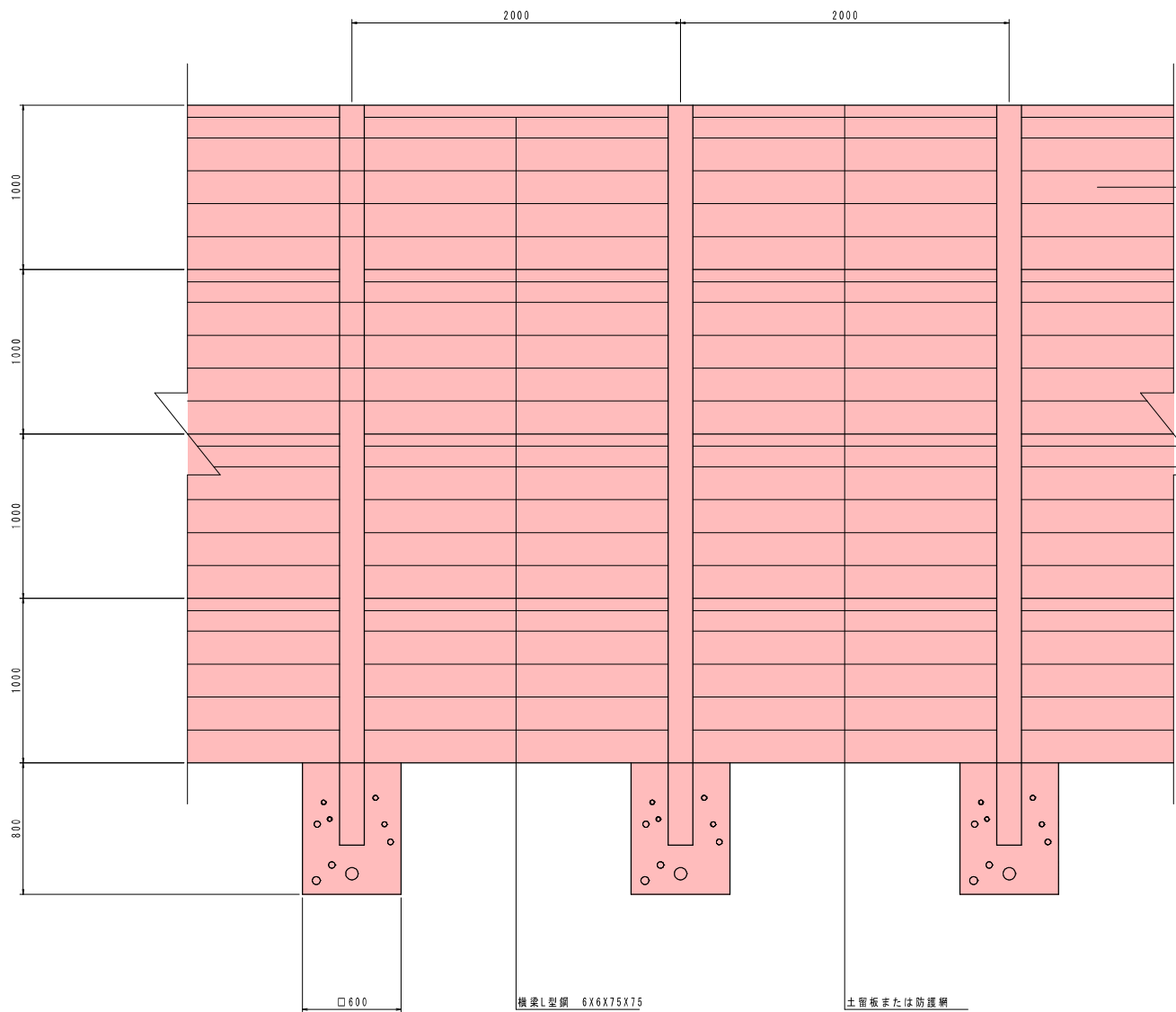
片開き門扉 数量表		1.0箇所当たり		
種別	規格	計算式	数量	単位
片開き門扉	H=1500	1500(H)X1000(W)	1.0	個
コンクリート	σck=18N/mm ²	(0.35X0.35X0.60-1/4X0.06X0.06XπX0.30)X2	0.145	m ³
型枠	小型構造物	0.35X0.60X4X2	1.680	m ²

実施設計図

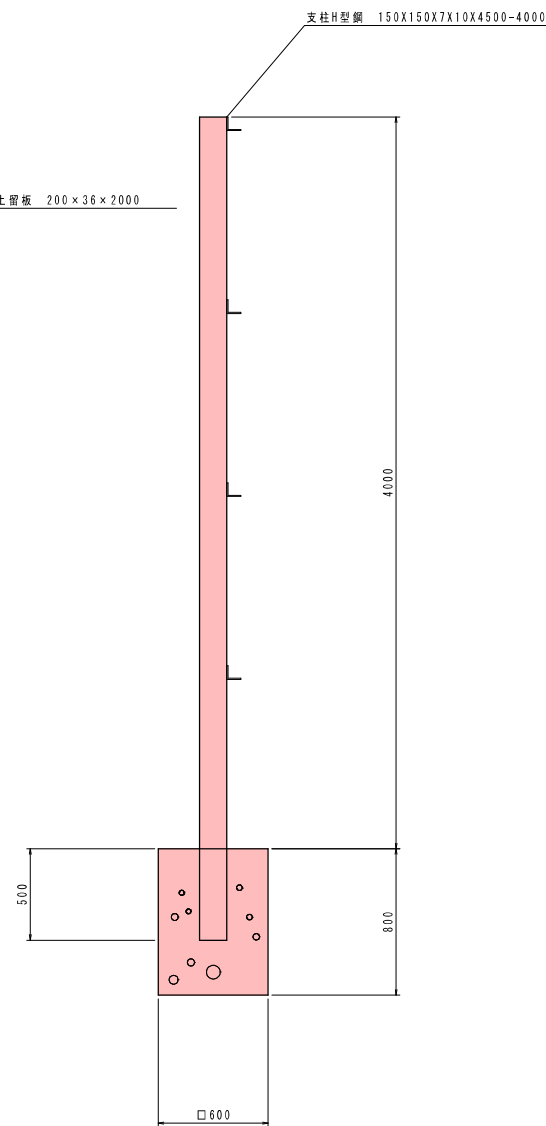
鹿 児 島 県	
工事名	令和7年度 大規模特定砂防等(念願斜)工事(大塚3地区R7-1工区)
河川名	大塚3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	安全施設工
縮尺	図示のとおり
図面番号	全 28 葉 第 25 号

仮設防護柵工 S=1:20

正面図

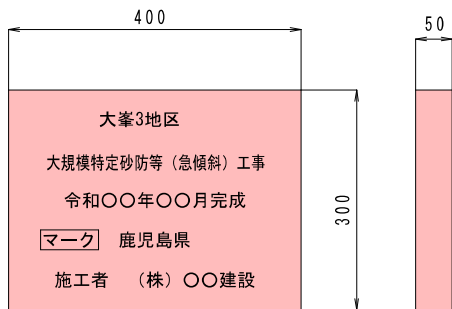


側面図

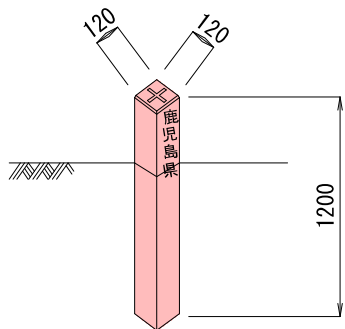


付属物工

名称板 S=1:5

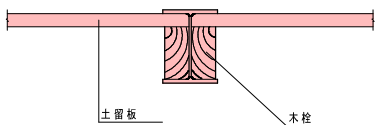


境界柱 S=1:20



仮設防護柵工 数量表				10.0m当たり	
種別	規格	計算法	数量	単位	
床 地	普通土	0.60X0.60X0.80X6	1.728	1.73	m3
埋戻し	普通土	0.60X0.60X0.80X6	1.728	1.73	m3
支 柱	H型钢	150X150X7X10X4500-4000	31.1(kg/m)X4.50X6/1000	0.840	0.84 t
横 梁	L型钢	6X6X75X75	6.85(kg/m)X2.00X4X5/1000	0.274	0.27 t
土留板	松板厚3.6cm	200X36X2000	4.00X10.00X0.036	1.440	1.44 m3
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	0.60X0.60X0.80X6	1.728	1.73	m3

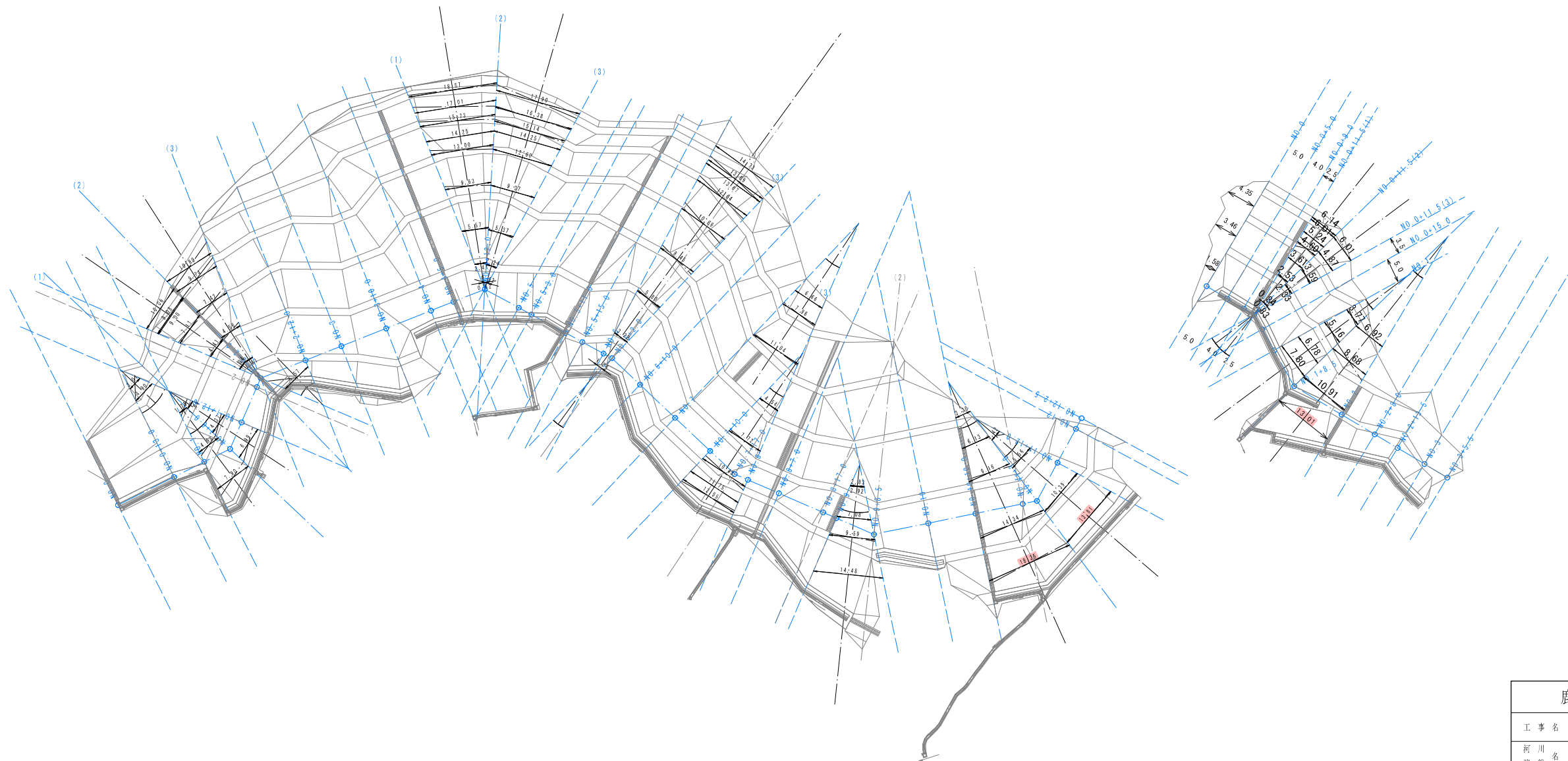
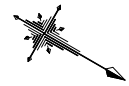
断面図 S=1:10



実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	令和7年度 大規模特定砂防等(急傾斜)工事(大塚3地区R7-1工区)
河 川 名	大塚3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内
図面種類	仮設防護柵工・付属物工
縮 尺	図示のとおり
図面番号	全 28 葉 第 26 号

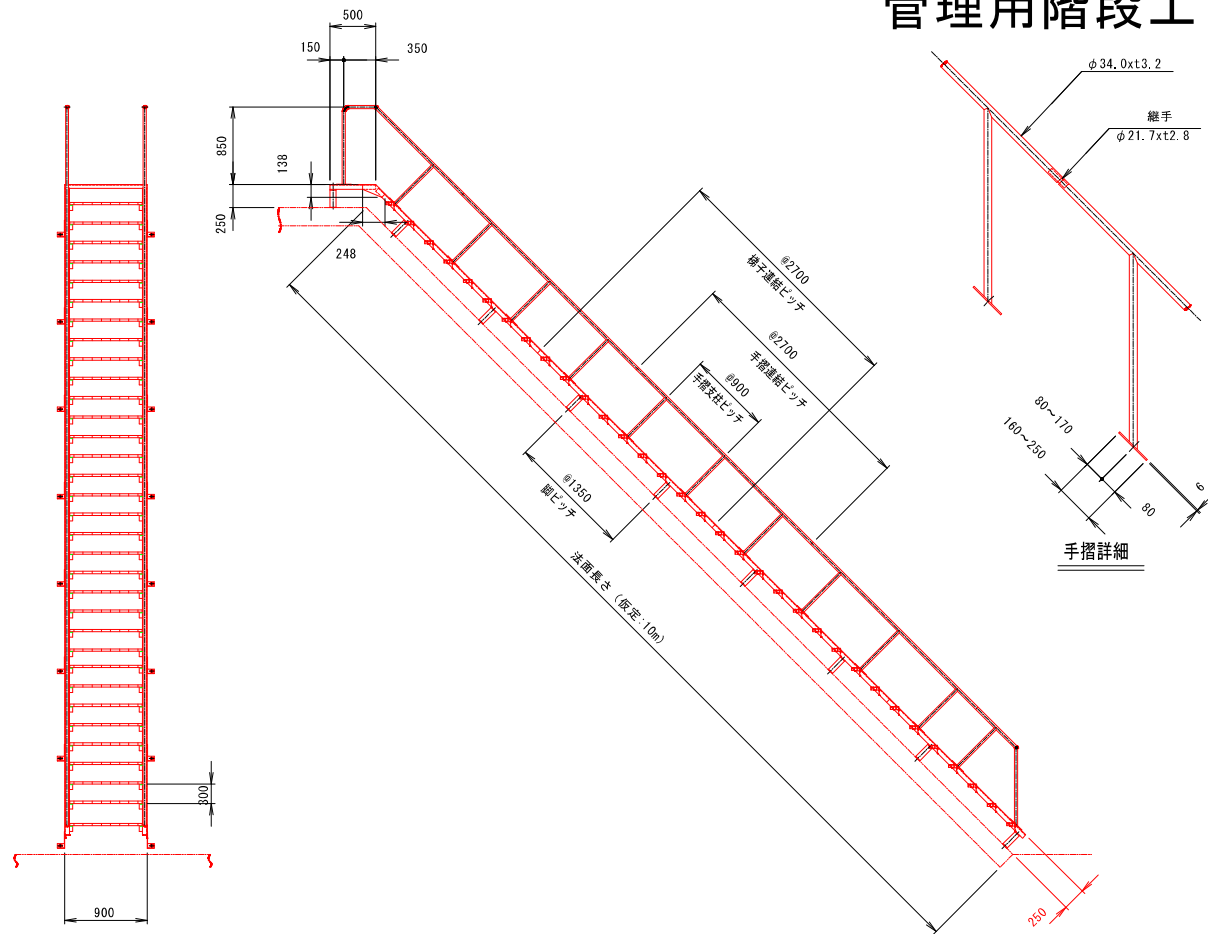
土工偏心算出図 S=1:500



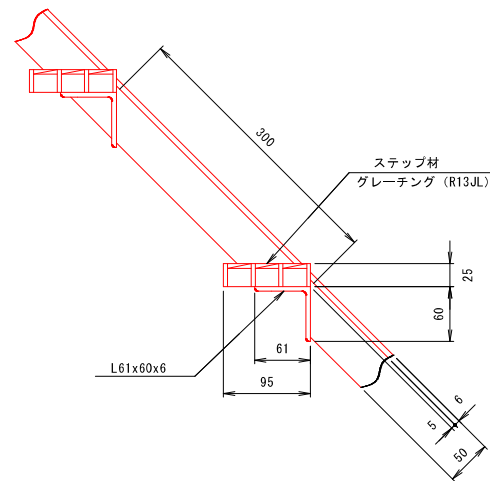
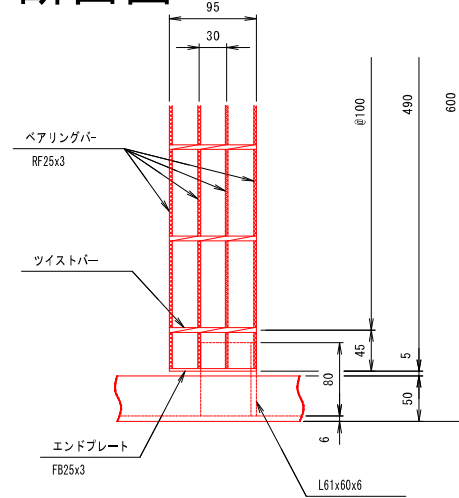
実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	令和7年度 大鏡根特定砂防等（急傾斜）工事（大峯3地区R7-1工区）
河 川 名	大峯3地区
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 港内
図面種類	土工偏心算出図
縮 尺	S=1:500
図面番号	全 28 葉 第 27 号

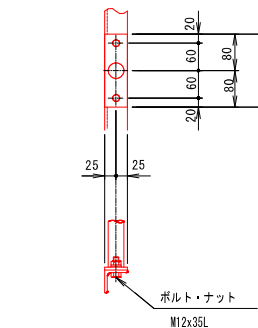
標準断面図



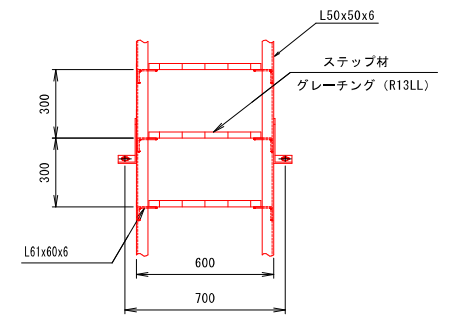
全体図



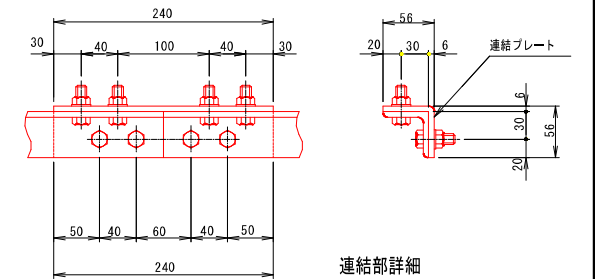
ステップ材詳細



踊り場手摺取付部詳細



階段部詳細



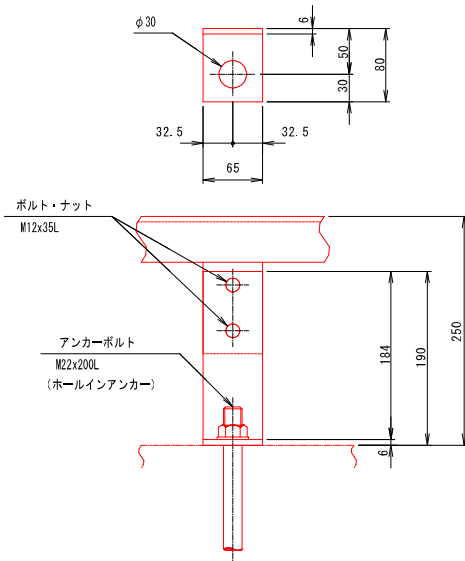
連結部詳細

注 記

- 1) 特記なき材質は全てSS400相当品 【溶融亜鉛メッキ（HDZ55）】とする。
- 2) 勾配の変化により踊り場の設置、又は梯子の分割を行う。
- 3) コンクリートアンカー使用部のコンクリートの厚みは150mm以上とする。
- 4) コンクリートの厚みが150mm未満の際はホールインアンカーを使用しない事
- 5) セメントミルクの設計強度は $F_c = 2.4N/cm^2$ 以上とする。

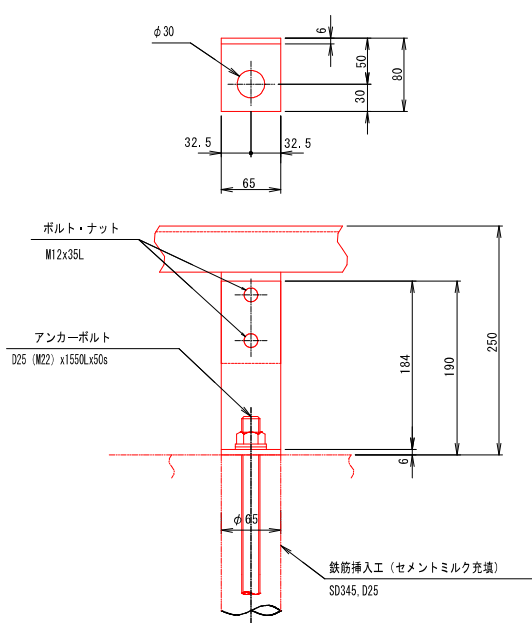
実施設計図

鹿	児	島	県
工事名	令和7年度 大規模特定砂防等（急傾斜）工事（大峯3地区R7-1工区）		
河川 名称	大峯3地区		
工事箇所	鹿児島市 田上8丁目 地内		
図面種類	管理用階段工 標準断面図		
縮尺	図示		
図面番号	全	28	葉第 28 号



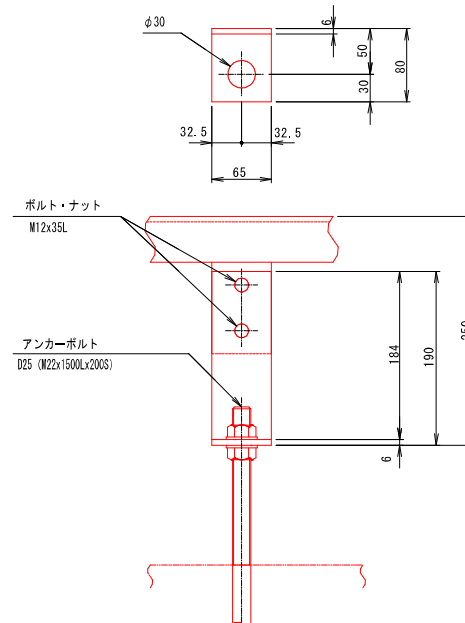
アンカ一部詳細

コンクリート及び硬岩に適用
埋込穴φ30 深さ100mm
踊り場脚固定用（仮定）



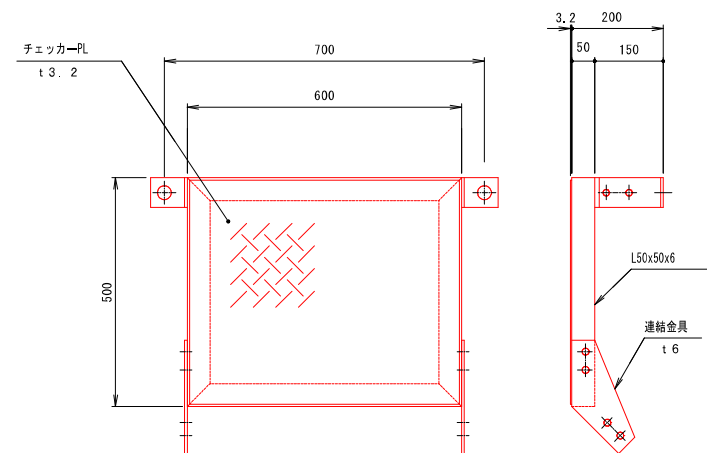
アンカー一部詳細

土砂に適用 (N=10を想定)
有効埋込深さ1500mm
踊り場脚固定用 (仮定)
※コンクリート厚150mm未満の場合



アンカ一部詳細

土砂に適用 (N=10を想定)
有効埋込深さ1500mm
法面脚固定用 (仮定)



踊り場詳細

材料表 (法長10m 勾配 1 : 1 参考)

(組分を示す)

	品 名	寸 法	単位重量	数量	重 量	備 考
梯 子	L型鋼	L50x50x6x10000L	4.43kg/m	2	88.6	
	ステップ受材	L61x60x6x80	5.43kg/m	66	28.7	
	ステップ材	グレーチング (R13JL) 95x490	1.36kg/枚	33	44.9	
	連結プレート	t6x参106x240	1.2kg/組	6	7.2	
	ボルト、ナット、SW、W	M12x35L	0.1kg/組	50	5.0	数量5%含む HDZ35
踊 り 場	L 型 鋼	L50x50x6x2200L	4.43kg/m	1	9.7	
	チェッカープレート	PL3.2x490x590	26.80kg/m ²	1	7.7	HDZ45
	連結金具	PL6x138x248	47.10kg/m ²	2	3.2	
	ボルト、ナット、SW、W	M12x35L	0.1kg/組	8	0.8	数量5%含む HDZ35
脚	脚	FB65x6x100L	3.06kg/m	18	5.5	
	脚	FB65x6x参264L	3.06kg/m	18	14.5	
	ボルト、ナット、SW、W	M12x35L	0.1kg/組	38	3.8	数量5%含む HDZ35
	アンカーボルト、ナット、SW、W	M22x200L	0.8kg/組	2	1.6	ホールインアンカー HDZ35
	アンカーボルト、Wナット、SW、2W	M22x1500L	6.2kg/組	16	99.2	HDZ35
手 摺	手 摺	φ34.0x3.2x18486L	2.43kg/m	2	89.8	HDZ45
	継手	φ21.7x2.3x100L	0.1kg/本	8	0.8	HDZ35
	手摺取付板	FB50x6x160L	2.36kg/m	2	0.8	
	手摺取付板	FB50x6x170L	2.36kg/m	24	9.6	
	ボルト、ナット、SW、W	M12x35L	0.1kg/組	55	5.5	数量5%含む HDZ35
総重量					426.9	kg/組